

令和8年9月

第660号

のぞましい家庭教育のしおり

刈谷市教育委員会
刈谷市児童生徒愛護会

～敬老の日から考える～

敬老の日とは、「多年にわたり社会につくしてきた老人を敬愛し、長寿を祝う日」と法律で定められています。もともとは祖父母だけの日ではなく、長年にわたり家庭や社会を支えてきた年長者の方々に感謝する日として設けられました。

私自身、子どもの頃は敬老の日を特別に意識することではなく、学校が休みになる日という認識でした。しかし、大人になり、家庭をもち、子どもを育てる立場になった今、その意味を改めて考えるようになりました。

振り返ってみると、両親は働きながら私を育て、やりたいことを応援し続けてくれました。祖父母はいつも温かく私を迎えてくれ、見えないところで支え、励ましてくれていました。また、親戚の方々も困ったときに相談に乗ってくれたり、気にかけてくれたりするなど、さまざまな場面で支えてくれました。大人になった今、自分が多くの年長者に見守られ、助けられながら成長してきたことを実感しています。

子どもたちは、家族や親戚など多くの人との関わりの中で成長していきます。いつの時代もこのような関わりの中で、人を思いやる気持ちや感謝の心、自分が多くの人に支えられて生きていることへの気付きが育まれていくのではないのでしょうか。

敬老の日は、普段なかなか伝えられない感謝の気持ちを言葉にできるよい機会です。手紙を書いたり、一緒に食事をしたり、顔を合わせて会話をしたりする中で、子どもたちも人とのつながりの温かさを感じることができるでしょう。そして、その経験は、家族を大切にすることや、周りの人への感謝の気持ちへとつながっていくことと思います。

もちろん、感謝の気持ちは敬老の日だけに限るものではありません。しかし、この日をきっかけに、自分たちを支えてくれている年長者の存在に思いを巡らせ、改めて「ありがとう」の気持ちを伝える機会にしていきたいものです。



一人で悩まないで、まず相談を

・刈谷市 子ども相談センター ～子どもに関する相談の総合的な窓口～

月～土曜 9時～17時（国民の祝日・年末年始を除く）

電話相談・来室相談

☎0566-62-6313

・愛知県 教育相談こころの電話 10時～22時 ☎052-261-9671